



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月14日

東

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	20,561	29.4	35	—	189	—	351	—
2023年12月期	15,889	10.2	△208	—	△15	—	△18	—

(注) 包括利益 2024年12月期 378百万円(—%) 2023年12月期 17百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	40.57	—	26.8	2.6	0.2
2023年12月期	△2.18	—	△1.7	△0.2	△1.3

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 66百万円 2023年12月期 56百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	8,085	1,537	17.7	165.51
2023年12月期	6,706	1,187	16.4	126.83

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,434百万円 2023年12月期 1,099百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	865	298	△127	3,677
2023年12月期	28	188	△157	2,604

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00	43	—	3.9
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,000	△7.6	70	99.5	160	△15.3	100	△71.6	11.54

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期	8,874,400株	2023年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期	205,838株	2023年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	8,668,562株	2023年12月期	8,668,562株

(注) 当社は取締役等に対する株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,041	2.1	101	△7.5	100	△42.1	△569	—
2023年12月期	1,020	△20.1	109	△65.5	174	△41.7	129	△54.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	△65.72		—					
2023年12月期	14.93		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年12月期	2,509		1,453		57.9		167.70	
2023年12月期	3,060		2,066		67.5		238.36	

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,453百万円 2023年12月期 2,066百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2025年2月17日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<当連結会計年度の概況>

当連結会計年度における国内経済は、経済活動の正常化が進み、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって緩やかな回復基調が続いているものの、人手不足の深刻化や金利上昇への警戒感、円安進行や原材料価格の高騰等、景気回復を阻むリスクも存在しています。また、海外においては、中国経済の長期停滞や米国における政権交代が世界各国経済に影響を与える可能性もあり、経済の先行きは一層不透明な状況が続いています。

情報サービス産業においては、クラウドシフトやAI、IoT、5G等の先端技術を活用したDX推進の動きが活発化しており、企業の生産性向上や競争力強化のためDX関連への投資意欲は引き続き高い状況にあるとみております。

このような状況において当社グループは、引き続き事業構造改革を進めつつ、SaaS(*1)・サブスク(*2)事業の拡大に加えて、生成AIによる事業強化、新規事業領域への取り組みを強化してまいりました。

当連結会計年度の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

Red Hat Enterprise Linux(*3)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*4)は、当第1四半期・第2四半期に受注した大型案件により大幅な増収となったものの、当該案件は売上総利益率の低い案件であったため、利益への影響は軽微でした。一方、主力自社製品である「LifeKeeper」(*5)は、国内におけるライセンス販売が増加し、増収増益となりました。これらにより、売上高は14,573百万円（前年同期比47.1%増）、セグメント利益は238百万円（前年同期比164.8%増）となりました。

② アプリケーション事業

API(*6)ソリューション事業は、API領域に特化した高い技術力を背景に市場の需要を捉え、増収増益となりました。また、「Gluegentシリーズ」(*7)は順調な増収、MFP向けソフトウェア(*8)製品は増収増益となりました。金融機関向けのシステム開発・構築支援、金融機関向け経営支援システム販売は減収となりました。これらにより、売上高は5,986百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

利益面では、研究開発費の選択と集中を図ったことにより前年同期比で改善し、セグメント損失は205百万円（前年同期は311百万円の損失）となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は20,561百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は35百万円（前年同期は208百万円の損失）、持分法による投資利益66百万円、デリバティブ評価益91百万円や為替差損37百万円の計上により経常利益は189百万円（前年同期は15百万円の損失）となりました。また、米国子会社において減損損失を計上した一方で、金融機関向け経営支援システム販売事業（孫会社）の株式譲渡による特別利益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は351百万円（前年同期は18百万円の損失）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本＋有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：87百万円（前年同期は△147百万円）

ROIC（年率換算数値）：1.5%（前年同期は△10.1%）

(*1) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*2) サブスク

サブスクリプションの略。ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*5) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*6) API

異なるソフトウェアやアプリケーション間で情報・機能を共有するための仕組み。

(*7) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*8) MFP向けソフトウェア

Medical（医療）とTechnology（技術）を組み合わせた造語。

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加1,073百万円等の要因により、7,175百万円（前連結会計年度末比25.0%増）となりました。

固定資産は、リース資産の減少55百万円等の要因により、909百万円（同5.8%減）となりました。

この結果、総資産は、8,085百万円（同20.6%増）となりました。

②負債

流動負債は、契約負債の増加638百万円等の要因により、6,183百万円（前連結会計年度末比20.5%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少49百万円等の要因により、364百万円（同6.0%減）となりました。

この結果、負債合計は、6,547百万円（同18.7%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の増加301百万円等の要因により、1,537百万円（前連結会計年度末比29.4%増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,073百万円増加し3,677百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	28	865	837
投資活動によるキャッシュ・フロー	188	298	109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157	△127	29

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは865百万円の収入となりました。これは、契約負債の増加額等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは298百万円の収入となりました。これは、関係会社株式の売却による収入等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは127百万円の支出となりました。これは、配当金の支払い、長期借入金の返済による支出等によるものです。

(4) 今後の見通し

現在の景気は緩やかに回復傾向を見せていますが、依然として、人手不足や金利上昇、円安進行、原材料価格の高騰等、経済の先行きには多くの不確実性が存在しています。情報サービス産業におきましては、生成AIを始めとするAI技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化がさらに加速するものと思われまます。このような環境下で、当社グループは、引き続き生成AIによる事業強化等を通じ、変化に柔軟かつ俊敏に対応してまいります。

2025年12月期の業績については、当期に計上したRed Hat, Inc. 関連商品の大型案件と同規模の案件を想定していないため売上高は19,000百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は70百万円（前年同期比99.5%増）、経常利益は当期に計上したデリバティブ評価損益を見込んでいないため160百万円（前年同期比15.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は当期に計上した孫会社の株式譲渡による特別利益と同規模の特別利益を想定していないため100百万円（前年同期比71.6%減）を見込んでいます。

利益配分につきましては、当期で個別決算において関係会社株式の減損による特別損失の計上を行うことから、利益剰余金が大幅に減少することになり、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配といたします。2025年12月期につきましても、同様の理由で無配予想とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,604,002	3,677,914
受取手形、売掛金及び契約資産	2,433,031	2,549,132
仕掛品	2,267	8,909
前渡金	532,496	645,085
その他	169,429	294,680
貸倒引当金	△200	-
流動資産合計	5,741,026	7,175,721
固定資産		
有形固定資産		
建物	139,856	107,053
減価償却累計額	△97,706	△74,785
建物(純額)	42,149	32,268
工具、器具及び備品	182,162	118,458
減価償却累計額	△152,925	△89,064
工具、器具及び備品(純額)	29,236	29,394
リース資産	88,587	19,129
減価償却累計額	△27,151	△13,390
リース資産(純額)	61,435	5,738
有形固定資産合計	132,822	67,401
無形固定資産		
ソフトウェア	36,780	8,485
ソフトウェア仮勘定	34,332	95,218
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	72,554	105,145
投資その他の資産		
投資有価証券	407,162	427,662
退職給付に係る資産	57,004	2,401
差入保証金	119,273	114,268
繰延税金資産	129,377	141,225
その他	47,359	51,494
投資その他の資産合計	760,177	737,052
固定資産合計	965,554	909,599
資産合計	6,706,581	8,085,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,235,031	1,546,836
1年内返済予定の長期借入金	66,000	49,500
リース債務	59,039	22,554
未払法人税等	30,509	241,270
契約負債	3,212,077	3,850,313
役員賞与引当金	-	9,900
その他	527,833	462,637
流動負債合計	5,130,492	6,183,013
固定負債		
長期借入金	49,500	-
退職給付に係る負債	320,317	305,897
リース債務	6,676	30,249
役員株式給付引当金	-	15,200
長期預り金	11,632	13,553
固定負債合計	388,127	364,900
負債合計	5,518,619	6,547,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	△236,541	65,359
自己株式	△87,254	△80,794
株主資本合計	1,157,723	1,466,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,796	△1,145
繰延ヘッジ損益	187	6,009
為替換算調整勘定	△68,280	△36,256
その他の包括利益累計額合計	△58,296	△31,392
新株予約権	88,534	102,715
純資産合計	1,187,961	1,537,407
負債純資産合計	6,706,581	8,085,320

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,889,487	20,561,583
売上原価	10,673,285	15,230,607
売上総利益	5,216,202	5,330,975
販売費及び一般管理費	5,424,916	5,295,883
営業利益又は営業損失(△)	△208,713	35,092
営業外収益		
受取利息	16,437	24,385
受取配当金	1,098	456
業務受託料	1,898	2,147
投資事業組合運用益	82,586	-
持分法による投資利益	56,667	66,261
デリバティブ評価益	37,648	91,243
その他	6,133	17,033
営業外収益合計	202,469	201,528
営業外費用		
支払利息	947	853
為替差損	3,897	37,752
投資事業組合運用損	2,395	4,585
外国源泉税	2,059	2,846
その他	3	1,577
営業外費用合計	9,303	47,616
経常利益又は経常損失(△)	△15,547	189,004
特別利益		
固定資産売却益	124	-
投資有価証券売却益	-	23,623
関係会社株式売却益	-	442,875
特別利益合計	124	466,498
特別損失		
投資有価証券評価損	-	2,566
関係会社株式評価損	19,000	-
減損損失	30,744	58,043
固定資産除却損	123	56
事業譲渡損失	27,933	-
特別損失合計	77,801	60,666
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△93,224	594,836
法人税、住民税及び事業税	32,444	252,170
法人税等調整額	△106,788	△9,037
法人税等合計	△74,344	243,132
当期純利益又は当期純損失(△)	△18,880	351,703
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△18,880	351,703

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△18,880	351,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,648	△10,941
繰延ヘッジ損益	187	5,821
為替換算調整勘定	30,275	31,216
持分法適用会社に対する持分相当額	1,716	808
その他の包括利益合計	36,828	26,903
包括利益	17,948	378,607
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	17,948	378,607

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	△130,975	△87,254	1,263,289
当期変動額				
剰余金の配当		△86,685		△86,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△18,880		△18,880
自己株式の取得				
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	△105,566	-	△105,566
当期末残高	1,481,520	△236,541	△87,254	1,157,723

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,147	-	△100,273	△95,125	75,369	1,243,534
当期変動額						
剰余金の配当						△86,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△18,880
自己株式の取得						-
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,648	187	31,992	36,828	13,164	49,993
当期変動額合計	4,648	187	31,992	36,828	13,164	△55,572
当期末残高	9,796	187	△68,280	△58,296	88,534	1,187,961

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	—	△236,541	△87,254	1,157,723
当期変動額					
剰余金の配当			△43,342		△43,342
親会社株主に帰属する当期純利益			351,703		351,703
自己株式の取得		△6,459		85,839	79,380
自己株式の処分				△79,380	△79,380
自己株式処分差損の振替		6,459	△6,459		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	301,901	6,459	308,360
当期末残高	1,481,520	—	65,359	△80,794	1,466,084

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,796	187	△68,280	△58,296	88,534	1,187,961
当期変動額						
剰余金の配当						△43,342
親会社株主に帰属する当期純利益						351,703
自己株式の取得						79,380
自己株式の処分						△79,380
自己株式処分差損の振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,941	5,821	32,024	26,903	14,180	41,084
当期変動額合計	△10,941	5,821	32,024	26,903	14,180	349,445
当期末残高	△1,145	6,009	△36,256	△31,392	102,715	1,537,407

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△93,224	594,836
減価償却費	61,034	52,093
減損損失	30,744	58,043
事業譲渡損益(△は益)	27,933	-
受取利息及び受取配当金	△17,535	△24,842
支払利息	947	853
投資事業組合運用損益(△は益)	△80,191	4,585
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△23,623
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△442,875
持分法による投資損益(△は益)	△56,667	△66,261
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△393,749	△183,532
棚卸資産の増減額(△は増加)	23,124	△12,509
仕入債務の増減額(△は減少)	150,920	321,558
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,604	21,946
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	15,200
契約負債の増減額(△は減少)	399,386	743,338
前渡金の増減額(△は増加)	△260,449	△112,588
未払消費税等の増減額(△は減少)	117,495	△24,965
その他	50,326	△42,733
小計	△22,299	878,524
利息及び配当金の受取額	25,308	32,363
利息の支払額	△947	△853
法人税等の還付額	45,078	1,364
法人税等の支払額	△18,650	△45,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,490	865,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,983	△8,120
無形固定資産の取得による支出	△24,517	△89,766
差入保証金の差入による支出	△551	△232
差入保証金の回収による収入	49,229	-
関係会社株式の売却による収入	-	349,339
投資有価証券の取得による支出	△1,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	37,479
貸付金の回収による収入	7,031	-
デリバティブ取引による収入	103,840	-
事業譲渡による支出	△26,150	-
投資事業組合からの分配による収入	97,100	-
その他	128	9,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	188,128	298,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△86,270	△43,614
自己株式の取得による支出	-	△79,830
自己株式の処分による収入	-	79,830
長期借入金の返済による支出	△66,000	△66,000
リース債務の返済による支出	△5,447	△18,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,718	△127,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,335	38,358
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,235	1,073,912
現金及び現金同等物の期首残高	2,505,766	2,604,002
現金及び現金同等物の期末残高	2,604,002	3,677,914

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、市場・顧客及び技術領域に応じた部門及び子会社を置き、OSやミドルウェア等のオープンシステム基盤分野と、業務アプリケーション等のアプリケーション分野において各種製品・サービス提供をしております。

したがって、当社グループは、「オープンシステム基盤事業」及び「アプリケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントの事業内容は以下のとおりであります。

・オープンシステム基盤事業

当事業においては、ITシステムの障害時のシステムダウンを回避できるソフトウェア「LifeKeeper」、Red Hat, Inc. 関連商品をはじめとするOSS関連商品の販売、並びにOSSに関するさまざまな問い合わせに対応するサービス「サイオスOSSよろず相談室」、各種情報システム向けコンサルティングサービス等を行っています。

・アプリケーション事業

当事業においては、MFP向けソフトウェア製品、金融機関向け経営支援システム、クラウドサービスのSaaS「Gluegentシリーズ」、企業情報システムの受託開発、各種情報システム向けコンサルティングサービス等を行っています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当社では報告セグメントに資産を配分しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	オープンシス テム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,909,414	5,967,473	15,876,887	12,600	15,889,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,927	5,927	△5,927	—
計	9,909,414	5,973,400	15,882,814	6,672	15,889,487
セグメント利益又は損失(△)	90,085	△311,399	△221,313	12,600	△208,713
その他の項目					
減価償却費	22,433	38,600	61,034	—	61,034

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	オープンシス テム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,573,839	5,986,143	20,559,983	1,600	20,561,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,424	8,424	△8,424	—
計	14,573,839	5,994,567	20,568,407	△6,824	20,561,583
セグメント利益又は損失(△)	238,510	△205,018	33,492	1,600	35,092
その他の項目					
減価償却費	14,082	38,011	52,093	—	52,093

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
15,068,145	536,857	175,994	108,490	15,889,487

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
75,011	57,810	132,822

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	4,229,893	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業
株式会社ネットワールド	2,026,750	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
19,727,942	467,595	244,553	121,493	20,561,583

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
67,401	—	67,401

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	6,067,031	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業
株式会社ネットワールド	2,599,494	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
当期末残高	－	30,744	30,744	－	30,744

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
当期末残高	58,043	－	58,043	－	58,043

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
収益認識の時期					
一時点で移転される財又はサービス	7,463,996	827,560	8,291,557	—	8,291,557
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,445,418	5,139,912	7,585,330	12,600	7,597,930
顧客との契約から生じる収益	9,909,414	5,967,473	15,876,887	12,600	15,889,487
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,909,414	5,967,473	15,876,887	12,600	15,889,487

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託収入等であります。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
収益認識の時期					
一時点で移転される財又はサービス	11,892,504	856,234	12,748,738	—	12,748,738
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,681,335	5,129,909	7,811,244	1,600	7,812,844
顧客との契約から生じる収益	14,573,839	5,986,143	20,559,983	1,600	20,561,583
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,573,839	5,986,143	20,559,983	1,600	20,561,583

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託収入等であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	126.83円	165.51円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△2.18円	40.57円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。
1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当連結会計年度205,838株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当連結会計年度205,838株であります。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△18,880	351,703
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△18,880	351,703
普通株式の期中平均株式数(株)	8,668,562	8,668,562
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 638,917株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 197,125株	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 655,333株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 227,146株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。